

雜 錄

●本邦産葉蜂科の研究報告

本邦産葉蜂科第一集は農商務省農事試驗場特別報告（第十七號）として表はれたり本研究は技師中川久知の調査せられたるものにして其一部分は嘗て動物學會に於て講演せられたることは讀者の記憶する處ならん

茲に葉蜂科と言ふは膜翅類に屬する一科にして中川氏の新に命名せしものなり則ち從來鋸蜂と稱し來りしものなり抑も鋸蜂科とキバチ科は從來各々特別の一科として昆虫書に載せたるものなれどもダラ、トール氏の膜翅類總目錄には兩科を合し鋸蜂科の一科とせりと中川氏は此說に賛し兩科を合併し其和名を鋸蜂に代ゆるに概ね葉蜂の名を以てせりこれ名稱を付するに當りノコギリバチに比してハバチの簡單なるを貴ふを以てなりと
今本報告の内容を畧報せんに

緒 言

第一章葉蜂の形態（第一節成虫の形態、第二節幼虫の

形態、第三節雄雌の別）

第二章 葉蜂の習性（成虫、卵、幼虫の習性、幼虫の食物）

第三章 已に東洋に産し或は將來東洋に於て發見し得べき諸屬の徵候及本邦産諸種の記載

第四章 已に東洋に産し或は後來東洋に於て發見し得べき諸屬の檢索（成虫及び幼虫の檢索）

第五章 驅除豫防の方法

附録としては記者畧字解、引用書目、外國語索引あり着色圖版一葉を附す紙數百十三頁（附録を除く）中川氏の調査に依れば從來本邦にて得たる葉蜂科の屬數は三十七屬に達す然りと雖も此類の蜂は未だ本邦に於て普く調査したることなきものなれば將來發見すべき屬種は頗る多きものなるは疑を容るゝ所なしと

●農作物害蟲の經過試驗成績

農商務省農事試驗場報告第二十三號には中川久知氏小貫信太郎氏及び堀健氏の擔當實驗にかゝる農作物害蟲の經過及び驅除法に關する試験の成績並びに調査を登載せり